

J T A トピックス 2021年10月

梅北徳彦（鹿児島テコンドークラブ長）

『日本跆拳道教本』写真撮影責任者就任！

日本跆拳道創始者・河 明生会長は、  
現在、執筆中の『日本跆拳道教本』に掲載する蹴武型や約束組手等の連続動作写真を担当する  
写真責任者として梅北徳彦を任命しました（ただし、無報酬とする）

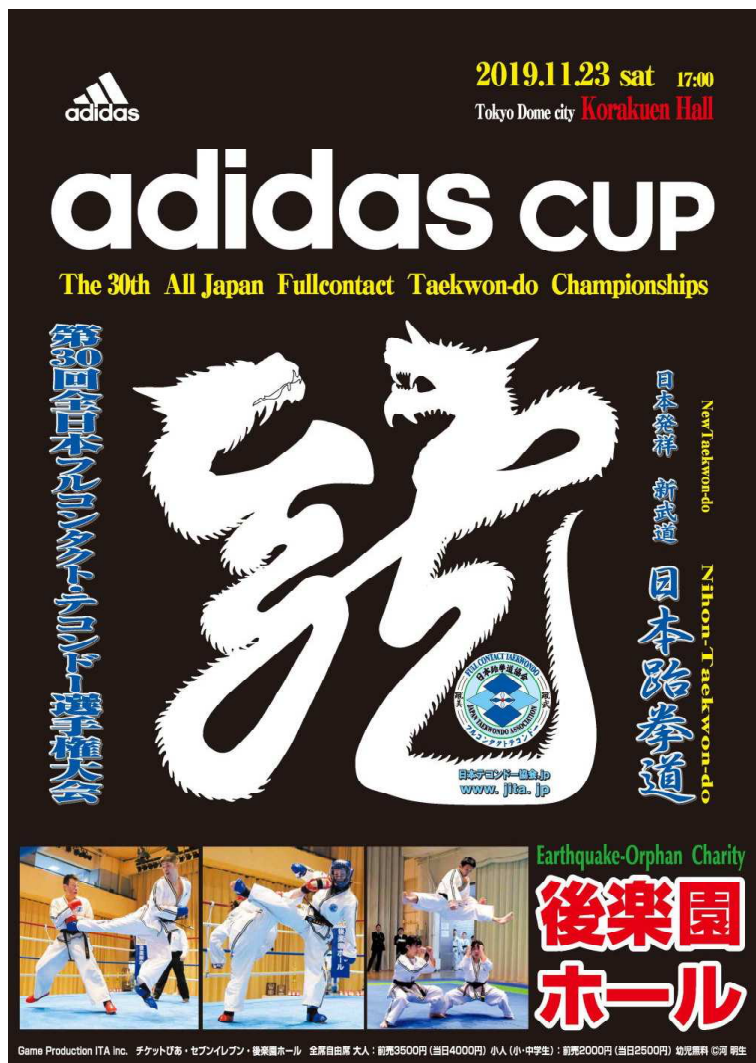


河 明生会長談

「第29回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会における「4人目のカメラマン」として梅北を任命したところ素晴らしい蹴美の写真を撮ってくれました。

正直、レベルの高さに驚きました。

翌年の第30回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会のポスターに迷わず採用しました。



私が現在、執筆中の『日本跆拳道教本』（2023年秋刊行）にも蹴武型や約束組手等の連続写真を掲載します。執筆構想を練っていた際、

—連続動作の写真を誰に依頼しよう？

思案中でしたが、上記の梅北の優れた写真を目の当たりにし、

—テコンドー愛に満ちた写真技術の高い愛弟子が担当する、これほどふさわしい人事はない！

と即断しました。

梅北によれば、鹿児島航空自衛隊の高速戦闘機を撮影する趣味が高じて撮影技術が高まったということです。



『日本跆拳道教本』編集委員長に任命した相良典隆（J T A九州指導部長、鹿児島曾於クラブ長）同様、富士よりも高く海よりも深いテコンドー愛、明るい南方系遺伝子と涼やかな頭、日本語にも長け漢字も読める梅北徳彦に期待します」